

# マンスリー・レポートご報告内容：11月

1. タイ

2. ベトナム

1. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し
2. COVID-19 により顕在化したFVC の課題
3. 現地FVC 再構築に向けた最新動向



## ベトナムの2020年11月号のコンテンツとサマリは下記の通り

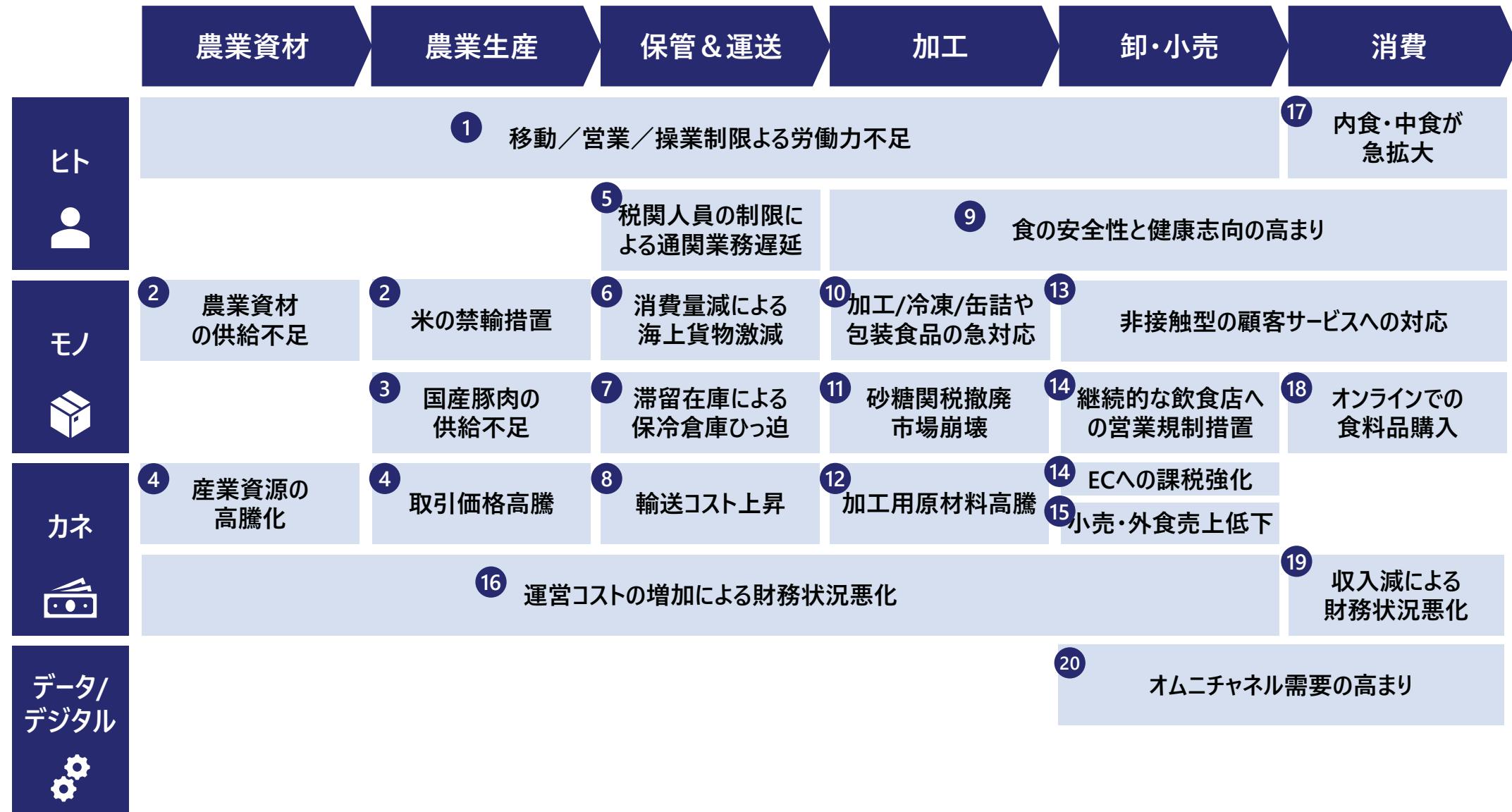
橙色：今月号の更新情報

報告内容	目次	サマリ
1. 概況	感染者状況 渡航／入国制限の状況 各種制限の緩和の動き	感染者：1,343人、死者：35名（WHO調べ、11月30日時点） 11月1日から優先往来制度（ビジネストラック：ベトナム滞在14日間未満）の適用を開始。 一方で、首相はコロナ予防・防止に関する政府の会議で「外国からの観光客はまだ受け入れない」と慎重な姿勢を維持 ロックダウンは段階的に緩和、工場や商業施設も再開
2. COVID-19による食市場・物流への影響と今後の見通し調査	主要な農産物の生産量 主要な食品の消費量 主要な農産物・食品の輸出量・輸入量 Eコマースによる取扱量 テイクアウト・デリバリーによる取扱量 消費者マインド	COVID-19の影響下において、農業部門は前年比を上回る年間成長率を達成する見込み 10月28日、海外からの冷凍豚肉より生鮮豚肉を好む消費者の傾向から、COVID-19の動物への感染も懸念される中、豚生体の輸入を開始。しかし、国民の国産豚肉・生鮮豚肉を好む傾向から豚肉価格が継続的に上昇する見通し ベトナムの水産物輸出は、COVID-19の影響で需要減少が続いたが、ライバル国でコロナ禍が長引いているため、ベトナムへの注文が増加。EUとの自由貿易協定（EVFTA）活用によりコメ輸出に活路 ベトナムの電子商取引収入は第4四半期に120億米ドルに達する。企業の24%が収益の51%以上増加 宅配とテイクアウトの増加により、イトインの割合が減少傾向。ロックダウンや外出自粛の影響が最も甚大だったのは都心部に出店する高級レストラン 新型コロナウイルスの影響を受けて爆発的に伸びていたベトナムの日用消費財（FMCG）支出が一服
3. COVID-19により顕在化したFVCの農業生産課題調査	農業資材 保管・輸送 加工 卸・小売 消費	ロックダウンによりサプライチェーンが混乱、農業資材の供給が遅延 コロナ対策の厳しい管理の下、首相指示で豚生体の輸入を承認するも未だ生鮮豚肉が払底。国産豚肉・豚生体の価格が継続的に上昇する予測 サプライチェーンが機能せず、倉庫（冷蔵含む）の利用が増加。消費者の生活習慣の変化から、物流チャネルは物流チャネルはラストワンマイルの需要が急増 COVID-19の影響により砂糖需要が減少するなか、タイからの安価な輸入品の急増 砂糖の価格が底値となり国内の41の砂糖加工工場のうち、最大12の工場が閉鎖 電子商取引（EC）の反映により、実質店舗が閉鎖されていくなか、コンビニエンスストアや薬局、ECなどの商業形態で商機が拡大。政府は、電子商取引（EC）に対する課税を強化する方針を提示 ホーチミンを中心にリアルタイムで配信を行う“ライブストリーム”が流行。顧客体験型DX（ライブストリーム）を活用したオンラインショップが急増
3. 現地FVC再構築に向けた最新動向調査	政府の支援策 民間企業の事業動向 第3国（企業）・国際組織の動向	政府は、EUへの米輸出業者を支援する打開策として、EU・ベトナム自由貿易協定（EVFTA）を最大限に活用し新しい流通チャネルの開拓を目指す ベトジェットは、需要を刺激し、観光や航空産業の勢いを回復するために、観光調整やプロモーションキャンペーンを開発するために、地方や都市に同行することを約束 日本は、COVID-19禍の影響を受けるベトナムの病院を支援



## FVC上で発生している課題および発生可能性のある課題は下記の通り

## ベトナムにおけるFVC上の課題



# 令和2年度COVID-19によるグローバル・フードバリューチェーンへの影響分析調査（東南アジア）ベトナム 2020年11月

## 11月号のアップデート サマリ



### 1. 概況

項目	概要	内容
渡航／入国制限の状況	優先往来制度開始 (ビジネストラック：ベトナム滞在14日間未満)	<p>10月19日、11月1日から優先往来制度（ビジネストラック：ベトナム滞在14日間未満）の適用を開始</p> <p>国際的な人の往来再開に向けた段階的措置（レジデンストラック：滞在14日間以上）は試行中</p> <p>外国からの観光客への受け入れは未だ未定</p> <p><b>【入国規制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原則全ての外国人の入国を停止。ただし、日本を含む複数国の国民は、ビジネス・レジデンストラックにより一定の条件下で入国可能</li> </ul> <p><b>【出国規制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナム人海外派遣労働者の派遣は、諸外国の入国規制により実質停止中。ただし、日本を含む複数国に対し、ビジネス・レジデンストラックにより一定の条件下で派遣可能</li> <li>ベトナム航空は一部の路線を除き国際線を運休。日系航空会社（JAL、ANA）は減便</li> <li>国際的な人の往来再開に向けた段階的措置（レジデンストラック：ベトナム滞在14日間以上）を試行中</li> <li>11月1日から優先往来制度（ビジネストラック：ベトナム滞在14日間未満）の適用を開始</li> </ul>

### 2. COVID-19による食市場・物流への影響と今後の見通し調査

項目	概要	内容
主要な農産物の生産量	農業部門は前年比を上回る年間成長率を維持	<p>10月21日、COVID-19の影響下において、農業部門は前年比を上回る年間成長率を維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナム首相が2020年を振り返り、COVID-19の影響を受けた9ヵ月間であったものの、農業部門はベトナム経済の原動力であり続けたと発表</li> <li>米の生産と輸出は、収量、生産、輸出価格の上昇に伴い、国家の食料安全保障を確保する重要な作物と位置付けられており、2020年の年間成長率は2.6%と前年比を上回る結果が予測される</li> </ul>
主要な食品の消費量	国産豚肉の供給不足による価格高騰	<p>10月28日、海外からの冷凍豚肉より生鮮豚肉を好む消費者の傾向から、COVID-19の動物への感染も懸念される中、豚生体の輸入を開始。しかし、国民の国産豚肉・生鮮豚肉を好む傾向から豚肉価格が継続的に上昇する見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナムでは、2019年に発生したアフリカ豚熱の影響によって、国内市場で豚の供給不足が発生これに伴う価格急騰が問題となっていた</li> <li>その解決策として、ベトナム農業農村開発省は2020年5月27日、豚生体の輸入解禁。この背景には、生鮮豚肉を好む現地の食文化もある。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、動物への感染も懸念される</li> </ul>

# 令和2年度COVID-19によるグローバル・フードバリューチェーンへの影響分析調査（東南アジア）ベトナム 2020年11月

## 11月号のアップデート サマリ



### 2. COVID-19による食市場・物流への影響と今後の見通し調査

項目	概要	内容
主要な農産物・食品の輸出量・輸入量	水産物輸出と米の輸出が大幅増加	<p>10月23日、ベトナムの水産物輸出は、COVID-19の影響で需要減少が続いたが、ライバル国でコロナ禍が長引いているため、ベトナムへの注文が増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナムの水産物輸出は、年末に向けて回復の兆し。新型コロナウイルスの影響で需要減少が続いたが、ライバル国でコロナ禍が長引いているため、ベトナムへの注文が増加。ベトナム税関総局によれば、9月前半の輸出高は前年同期比で16.5%増加、8月単月の同2.3%増から大幅に成長。</li> <li>一方で、水産輸出部門でベトナムのライバル国となるインドやインドネシア、エクアドルの生産・輸出量は30~50%減少。また、欧州連合（EU）とベトナムの自由貿易協定（EVFTA）による関税率の撤廃や引き下げも追い風</li> <li>1~8月の水産輸出高は、前年同期比5.1%減の52億1,200万米ドル（約5,490億円）。今年は通年の輸出高89億米ドルを目指す</li> </ul> <p><b>9月22日、EUとの自由貿易協定（EVFTA）活用によりコメが免税措置の対象となりコメ輸出に活路</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナム南部カントー省のコメ企業チュン・アン・ハイテク農業は2020年8月1日に発効した欧州連合との自由貿易協定（EVFTA）を活用したコメ輸出を準備中。免税措置の対象となり、今後のコメ拡大に期待が高まっている</li> <li>EVFTAでは、コメは年間9万トンまで、破碎米は全てが免税対象と。商工省は同協定が、今年後半からのベトナム産コメの輸出拡大を後押しすると期待。なお、免税措置を受けるには、EUが定める原産地証明や国際的な適正農業規範「グローバルギヤップ」または準じた安全性証明を取得が必要</li> </ul>
Eコマースによる取扱量	企業の24%が収益の51%以上増加	<p>10月20日、ベトナムの電子商取引収入は第4四半期に120億米ドルに達する。企業の24%が収益の51%以上増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業貿易省(MoIT)によると、ベトナムの電子商取引市場は、2020年の第4四半期に20%の成長に達すると予想</li> <li>同省は、ベトナムの電子商取引市場は12月までの3ヶ月間に120億米ドルを生み出すと試算</li> <li>EC企業を対象に実施された実態調査では、調査対象企業の約24%が収益の51%以上を増加させたと回答し、コロナ禍で売り上げを伸ばすEC企業が多く存在</li> </ul>
消費者マインド	日用消費財（FMCG）支出がコロナ前水準に	<p>10月27日、新型コロナウイルスの影響を受けて爆発的に伸びていたベトナムの日用消費財（FMCG）支出に落ち着く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響を受けて爆発的に伸びていたベトナムの日用消費財（FMCG）支出がひと段落し、コロナ禍以前の水準に回帰。市場調査会社センターのリポートによれば、9月単月のFMCG消費は5.8%増と2019年の伸び率（6.3%）をわずかに下回った</li> <li>販売チャネル別では、オンライン販売が占める割合が、19年の2.7%から移動制限令後に4%と急拡大</li> </ul>

# 令和2年度COVID-19によるグローバル・フードバリューチェーンへの影響分析調査（東南アジア）ベトナム 2020年11月

## 11月号のアップデート サマリ



### 3. COVID-19により顕在化したFVCの課題調査

項目	概要	内容
保管・輸送	輸出用水産加工品向け 冷蔵倉庫が継続的に不足	<p>10月20日、ベトナムのホーチミン市とその周辺地域で冷蔵倉庫のスペースが継続的に不足 ベトナム水産輸出加工協会（VASEP）は、冷蔵倉庫の増設などに向けた支援を政府に要請</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナムのホーチミン市とその周辺地域で冷蔵倉庫のスペースが不足している。新型コロナウイルスの影響で食品需要が落ち込み、在庫が拡大しているため、ベトナム水産輸出加工協会（VASEP）は、冷蔵倉庫の増設などに向けた支援を政府に要請。新型コロナで消費者が出費を抑えた影響で輸出が滞り、輸入品も在庫増</li> <li>水産輸出加工協会のチュオン・ディン・ホ工総書記は、水産物企業は倉庫不足で困難に直面していると指摘。農業・地方開発省に対し、企業による冷蔵倉庫の建設を支援するよう要請。長期ローンの場合、最初の2年間の利子を免除するなどの対応を検討するよう要請</li> <li>ホ工総書記は、モダンリテール（近代小売り）が発展すれば、国内市場での冷蔵倉庫の需要は一層拡大していくとの見通しを提示</li> </ul>
加工	砂糖関税撤廃 タイ産砂糖のAD課税へ	<p>10月26日、COVID-19の影響により砂糖需要が減少するなか、タイからの安価な輸入品の急増により市場が混乱 砂糖の価格が底値となり国内の41の砂糖加工工場のうち、最大12の工場が閉鎖された</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2020年にベトナムが砂糖産業とCOVID-19パンデミックに関する東南アジア諸国連合（ASEAN）自由貿易協定（AFTA）の規定に基づき、域内から輸入される砂糖の関税を撤廃</li> <li>結果、砂糖の輸入は膨大な量の輸入で爆発的に増加。消費需要がロックダウンの影響で減少し、砂糖の価格が底値となり国内の41の砂糖加工工場のうち、最大12の工場が閉鎖。</li> <li>政府は、タイ産砂糖の輸入量が急増しているのを受け、これを阻止するべく、ベトナムの製糖業者6社に対し、タイ産の砂糖に対するAD税（37.9%）の課税を要請</li> <li>ベトナム政府は、タイ政府によるサトウキビ農家への補助金支給や輸出税の減免など15の政策がダンピングを助長しているとして課税を検討するとみられ、タイ側はこれに反論する予定。2019年7月～20年6月のタイ産砂糖のベトナム向け輸出量は前期比10倍の54万3,039トン。同国でのシェアは前期の3%から28%に拡大。 ベトナム国内の今年の砂糖消費量は前年比1%増の194万トンと予測されている。</li> </ul>
卸・小売	コンビニや薬局等の 商業形態で商機が拡大	<p>11月14日、実質店舗が閉鎖されていくなか、コンビニエンストアや薬局等の商業形態で商機が拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナム・ホーチミン市の小売業界が、電子商取引（EC）と宅配サービスの取り込みにより成長している。コロナ禍でサービス業が軒並み落ち込む中、唯一プラス成長となっている。ホーチミン市商工局によると、今年1～8月の小売売上高は前年同期比8.3%増の503兆ドン（219億米ドル、約2兆3,100億円）。新型コロナウイルス感染症の流行で実店舗への来店が減ったが、オンライン販売の伸びでプラスとなった。</li> <li>米系不動産サービス会社CBREベトナムのリテール部門の担当者は、コロナ禍により、コンビニエンストアや薬局、ECなどの商業形態で商機が拡大したと指摘</li> </ul>



## 令和2年度COVID-19によるグローバル・フードバリューチェーンへの影響分析調査（東南アジア）ベトナム 2020年11月

## 11月号のアップデート サマリ

## 3. COVID-19により顕在化したFVCの課題調査

項目	概要	内容
卸・小売	電子商取引（EC）に対する課税	<p>10月28日、政府は、電子商取引（EC）に対する課税を強化する方針を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナム税務総局が、ソーシャルメディアなどを通じた電子商取引（EC）に対する課税を強化する方針を示し関連機関との連携を強める。</li> <li>税務総局のブー・マイン・クオン検察課長によると、今年は会員制交流サイト（SNS）「フェイスブック」や動画共有サイト「ユーチューブ」などで事業収益を得ている事業主に対し、139億ドン（60万4,000米ドル、約6,300万円）を追徴課税した。</li> <li>銀行から提供された情報によると、ソーシャルネットで事業収益を得ている人は国内に1万8,304人おり、年初からの収入は計1兆4,620億ドンとなっている</li> <li>今後も課税強化のため、商工省や情報通信省、地元銀行とも連携し、情報収集に努める方針。</li> </ul> <p>税務総局は先ごろ、米動画配信大手ネットフリックスのベトナム事業についても、追徴課税を課す方針を示す</p>
消費	顧客体験型DX（ライブストリーム）を活用したオンラインショップが急増	<p>11月11日、ホーチミンを中心にリアルタイムで配信を行う“ライブストリーム”が流行</p> <p>顧客体験型DX（ライブストリーム）を活用したオンラインショップが急増</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホーチミンではリアルタイムで配信を行う“ライブストリーム”が流行。顧客体験型DX（ライブストリーム）を活用したオンラインショップが急増。</li> <li>購入方法は、配信しているライブ動画のコメント欄にほしいサイズや個数を記入。連絡先としてコメント欄に“電話番号”を記入。動画配信中にコメント欄に入った質問などにもリアルタイムで答えてくれるのもストリーム配信の特徴。ファッションの場合だと、10～20分の動画内で洋服を5～10回、着替えて次々と商品を紹介。</li> </ul> <p>動画配信終了後、コメント欄に記載した情報を元にサイト運営者から注文者情報や、発送場所など詳細情報を聞く連絡がくるシステム。</p>

# 令和2年度COVID-19によるグローバル・フードバリューチェーンへの影響分析調査（東南アジア）ベトナム 2020年11月

## 11月号のアップデート サマリ



### 4. 現地FVC再構築に向けた最新動向調査

項目	概要	内容
政府の支援策	EU米輸出業者向け支援	<p>11月14日、政府は、EUへの米輸出業者を支援する打開策として、EU・ベトナム自由貿易協定(EVFTA)を最大限に活用し新しい流通チャネルの開拓を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政府は、ベトナムの米を促進し、市場で新しい流通チャネルを求めるために、EUに米を輸出する地元企業を支援するために、他の関係機関と調整するよう産業貿易省に命じた</li> <li>EU市場における需要と輸入政策の継続的な見直しが必要であり、ベトナム食品協会に速やかに情報を提供し、米トレーダーと調整して可能な問題に対処する必要がある。品質管理、食品安全モデルを適用し、需要を満たし、貿易紛争に対処するためにマーケティング能力を向上させる必要がある</li> </ul>
民間企業の事業動向	観光と航空産業向け支援	<p>11月16日、ベトジェットは、需要を刺激し、観光や航空産業の勢いを回復するために、観光調整やプロモーションキャンペーンを開発するために、地方や都市に同行することを約束</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>11月14日にベトナム市で会議が開催され、ホーチミン市とハザン、ホアビン、ラオカイ等8つの北西省間の観光開発を促進</li> <li>ベトジェットは、需要を刺激し、観光や航空産業の勢いを回復するために、観光調整やプロモーションキャンペーンを開発するために、地方や都市に同行することを約束。ホーチミン市観光局によると、ホーチミン市と他の地域との間のこれらの調整協定の署名は、地方自治体、州政府機関、協会、観光業における企業との関係における新たな発展段階を提示。</li> </ul>
第3国(企業)・国際組織の動向	ベトナムの病院向け支援	<p>9月8日、日本の山田多紀夫大使とグエン・タン・ロン保健大臣代理はCOVID-19禍の影響を受けるベトナムの病院を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の山田多紀夫大使とグエン・タン・ロン保健大臣代理は、2020年8月から2022年1月までの18ヶ月間に20億円(1,880万米ドル)相当のODA助成金を分散させるメモに署名。</li> <li>これには、国立熱帯病病院、国立肺病院、ダナンC病院、国立血液学輸血研究所の4つの病院での医療機器のアップグレードが含まれ、COVID-19の予防と管理における能力を向上。</li> <li>日本政府は、ベトナム政府が2020年春にマスク不足に直面した際に120万人以上のマスクで日本を支援したと述べ、ベトナム保健省の役割を高く評価。</li> </ul>

# マンスリー・レポートご報告内容：11月

1. タイ

2. ベトナム

1. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し

2. COVID-19 により顕在化したFVC の課題

3. 現地FVC 再構築に向けた最新動向



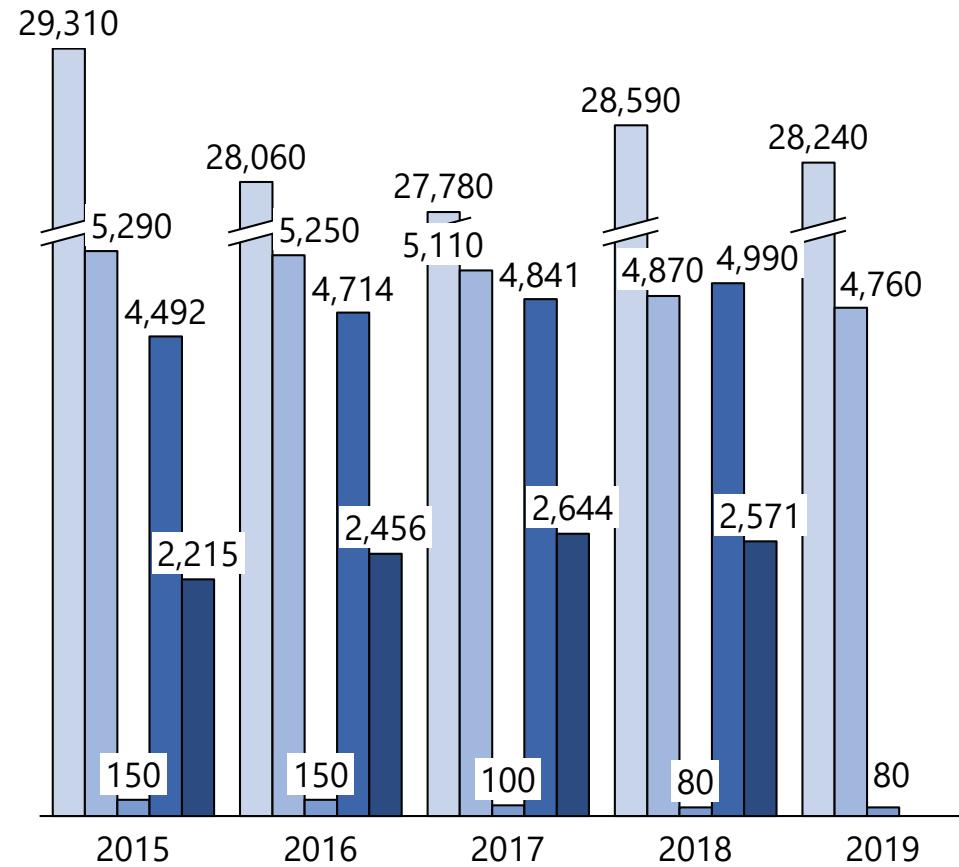
## COVID-19による食市場・物流への影響と今後の見通し | 生産量

**生産量| 2020年にはCOVID-19の影響が加わり、生産者にとって厳しい状況が続いたが、農業部門は、2019年の前年比を上回る年間成長率を達成する見込み**

主要農林水産物の生産量推移, 2015-2019 (千トン)

赤色 : COVIDによる主な影響 橙色 : 今月号の更新情報

■ 米 ■ トウモロコシ ■ 豆類 ■ 家畜肉 ■ 魚介



Note: 家畜肉と魚介に関しては2018年までのデータを使用  
FAOの最新データ(2019)が発表され次第データを更新

Source: Euromonitor

### 主なトレンド／特性

#### 農作物生産の傾向

- 世界第5位の米の生産国、耕地が国土の82%を占める
- 約1,500万人以上が農家にて生計を立てている為、国の緊急事態や市場の需要変動に敏感に反応
- 2019年からの深刻な干ばつと塩害被害により、米の生産量が激減

#### 家畜産業の傾向

- 家畜産業は、最も急成長を遂げる産業の一つ
- 生産量として豚肉(73%)が最も盛ん。鶏肉(19%)、牛肉(6%)
- 近年のアフリカ豚熱(ASF)の影響により生産量が激減

#### 水産養殖技術の発展

- 近年の養殖技術の発達により、養殖での生産量が海洋魚を上回る
- 中でも養殖淡水魚は年間養殖生産量の約90%以上
- 主に、養殖エビ、パンガシウス、ティラピアを養殖

### COVID-19による影響

#### 生産量の減少

- COVID-19の影響から家畜肉、作物全般の生産量が減少
- COVID-19の影響下において、農業部門は前年比を上回る年間成長率を達成する見込み



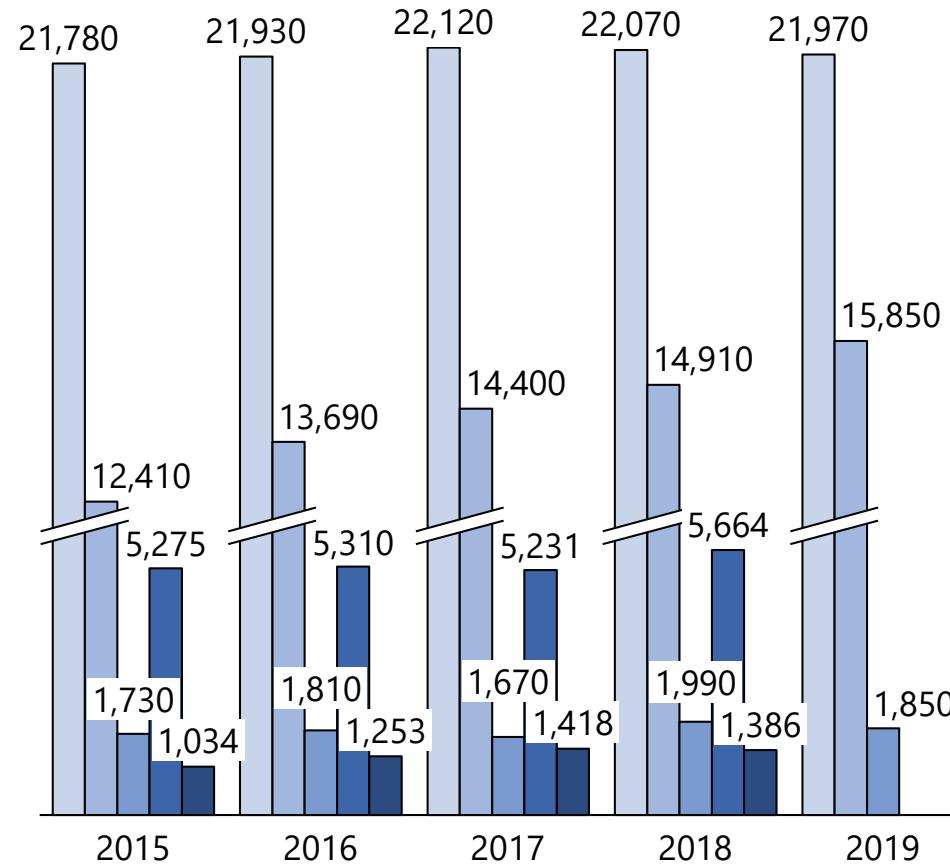
## COVID-19による食市場・物流への影響と今後の見通し | 消費量

**消費量| 国民の食への安全性意識から国産品の志向傾向へシフト。豚生体の輸入を開始するが、国民の国産豚肉・生鮮豚肉を好む傾向から豚肉価格が継続的に上昇する見通し**

主要農林水産物の消費量推移, 2015-2019 (千トン)

赤色: COVIDによる主な影響 橙色: 今月号の更新情報

■ 米 ■ トウモロコシ ■ 豆類 ■ 家畜肉 ■ 魚介



Note: 家畜肉と魚介に関しては2018年までのデータを使用  
FAOの最新データ(2019)が発表され次第データを更新

Source: Euromonitor

### 主なトレンド／特性

#### 農作物消費の傾向

- 主食である米の消費量が最多
- 家畜の飼料としての需要がトウモロコシの消費を促進
- 季節外れの降雨で農作物が被害を受け価格が上昇、豆類の消費量が減少

#### 肉の消費量増加

- 一人当たりの肉の消費量は年間33kg／人他国と比較し低い  
(参考: 米国107kg／人、EU76kg／人)
- 近年の外資系外食チェーンの進出により、国民の食生活が変化し、肉の消費量が増加

#### 消費者支出の増加

- シーフードの消費者支出の伸びは、他のセグメントを上回る予想
- 消費者は安価な川魚よりも高価な海水魚を選好  
(一人当たり支出は2024年に33.4米ドルから48.8米ドルに達する見込み)

### COVID-19による影響

#### 国産品消費の増加

- 野菜や果物などの生鮮食品の主なタイや中国の輸入に依存していたが、物流ネットワークの遮断により、供給がストップ
- 国民の食への安全性意識から国産品志向傾向が顕著に
- 海外からの冷凍豚肉より生鮮豚肉を好む消費者の傾向から、COVID-19の動物への感染も懸念される中、豚生体の輸入を開始
- しかし、国民の国産豚肉・生鮮豚肉を好む傾向から豚肉価格が継続的に上昇する見通し



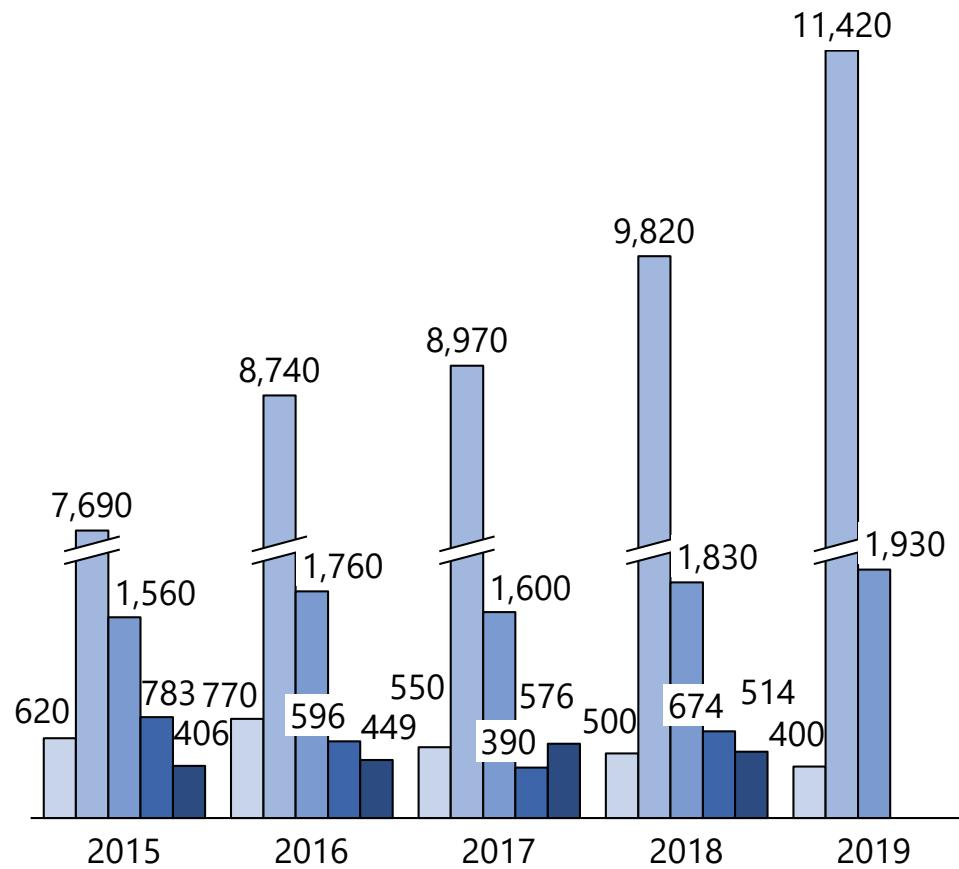
## COVID-19による食市場・物流への影響と今後の見通し | 輸入量

輸入量| 国内のアフリカ豚熱（ASF）の発生により豚肉、牛肉などの輸入量が過去最高を記録  
COVID-19の影響により、水産加工原料（エビ、ナマズなど）が一時調達困難となった

主要農林水産物の輸入量推移, 2015-2019 (千トン)

赤色 : COVIDによる主な影響 橙色 : 今月号の更新情報

■ 米 ■ トウモロコシ ■ 豆類 ■ 畜産肉 ■ 魚介



Note: 家畜肉と魚介に関しては2018年までのデータを使用  
FAOの最新データ(2019)が発表され次第データを更新

Source: Euromonitor, OEC

### 主なトレンド／特性

#### 主要輸入元

- 米：韓国、中国、タイ（2019）
- トウモロコシ：タイ、インド、中国（2019）
- 豆：米国、ブラジル、カナダ（2019）
- 肉：中国、米国、ロシア（2019）
- 魚介類：中国、アラブ首長国連邦、タイ（2019）

#### 農作物輸入の傾向

- 世界最大のトウモロコシ輸入国の一つ
- アフリカ豚熱(ASF)の発生により、トウモロコシ等の畜産用飼料の需要減

#### 家畜肉の動向

- 国内のアフリカ豚熱（ASF）の発生により、カナダ、ポーランド等からの豚肉／牛肉／鶏肉の輸入量が過去最高を記録（約200%増）

#### 水産加工の発展

- 輸出を目的とした水産加工産業が急速に発展
- 40の国と地域から水産加工原料用のエビ、ナマズを輸入

### COVID-19による影響

#### 中国との貿易の鈍化

- 農作物用原材料約30%を中国からの輸入に頼っていたが、ロックダウンによるサプライチェーン遮断により、原材料の調達が困難
- 原材料から完成品まで輸入品全体が縮小
- 四半期の野菜と果物の輸入量は、2億9,400万ドル（前年比29.8%）減少。タイからの輸入は90%減、中国からの輸入は27.7%減



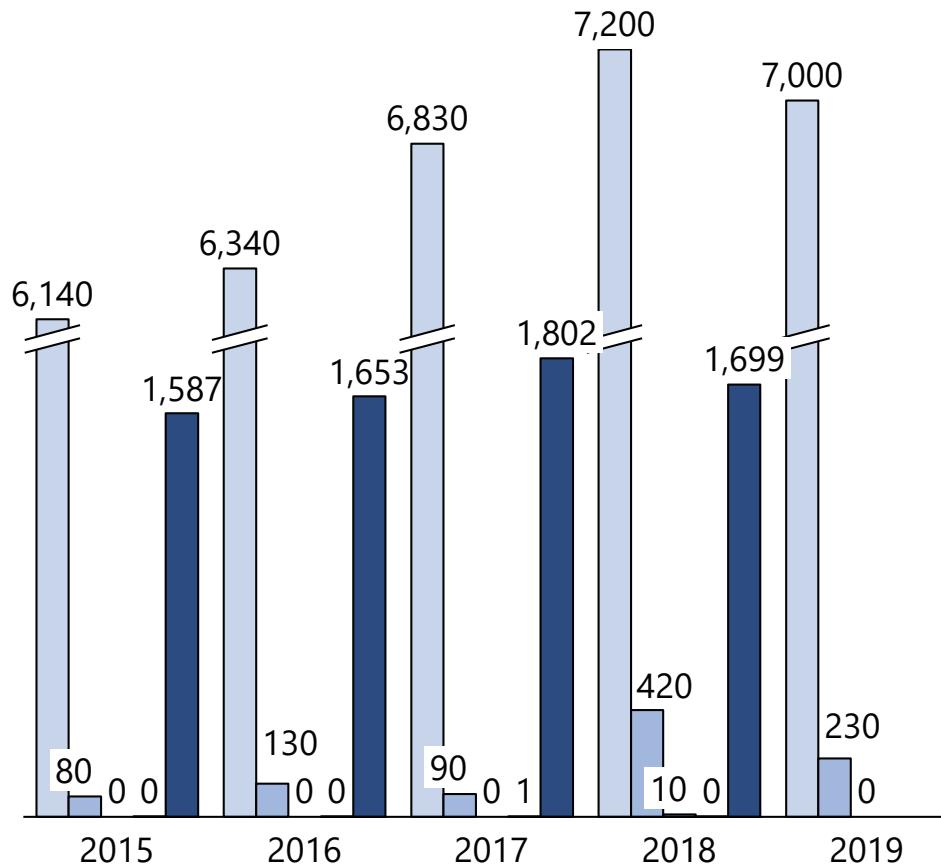
## COVID-19による食市場・物流への影響と今後の見通し | 輸出量

**輸出量| ベトナムの水産物輸出は、ライバル国でコロナ禍が長引いているため、ベトナムへの注文が増加  
EUとの自由貿易協定（EVFTA）活用によりコメ輸出に活路**

主要農林水産物の輸出量推移, 2015-2019 (千トン)

赤色 : COVIDによる主な影響 橙色 : 今月号の更新情報

■ 米 ■ トウモロコシ ■ 豆類 ■ 家畜肉 ■ 魚介



Note: 家畜肉と魚介に関しては2018年までのデータを使用  
FAOの最新データ (2019) が発表され次第データを更新

Source: Euromonitor, OEC

### 主なトレンド／特性

#### 主要輸出先

- 米: 中国、インドネシア、フィリピン (2019)
- トウモロコシ: フィリピン (2019)
- 豆: ドイツ、インド、カナダ (2018)
- 肉: 香港、マレーシア、米国 (2018)
- 魚介類: 日本、米国、韓国 (2019)

#### 農作物輸入の傾向

- 米の輸出量は、タイ、インド、中国を相手に第3位を維持

#### 国内需要向け 家畜肉

- 家畜肉の主は、国内需要向け

#### 水産加工品の輸出

- パンガシウス、マグロ、エビ、海洋魚を中心とした水産加工品の輸出大国

### COVID-19による影響

#### 養殖・加工 エビの輸出量の増加

- エビ養殖企業は、COVID-19の発生後数か月は輸出量の減少に直面
- インド、エクアドル、インドネシア、タイなど他のエビ養殖関係者がコロナ感染で苦しむ中、国内の感染者を抑制に成功し輸出全体は好調に推移
- ベトナムの水産物輸出は、COVID-19の影響で需要減少が続いたが、ライバル国でコロナ禍が長引いているため、ベトナムへの注文が増加。EUとの自由貿易協定（EVFTA）活用によりコメ輸出に活路

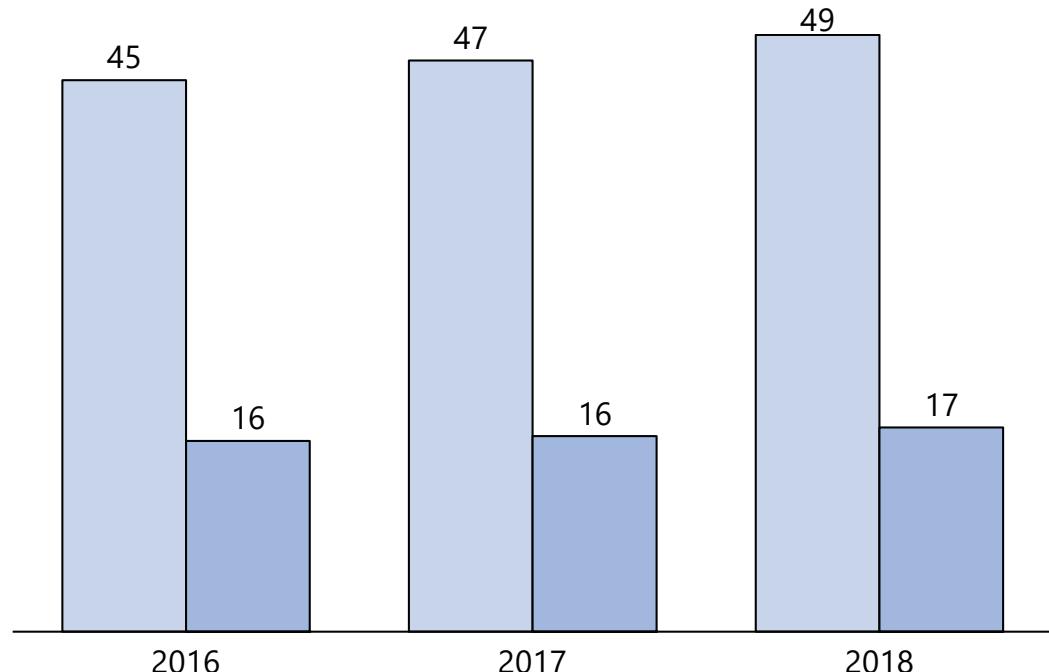


## COVID-19による食市場・物流への影響と今後の見通し

**加工食品、冷凍食品の生産と消費|エビやナマズの養殖加工や冷凍製品など需要の高まりから生産量と消費量共に拡大。有機食品の主は有機牛乳などの乳製品が主流**

### 加工食品、冷凍食品の生産（千トン）

■ 加工食品 ■ 冷凍食品 \*有機食品のデータなし



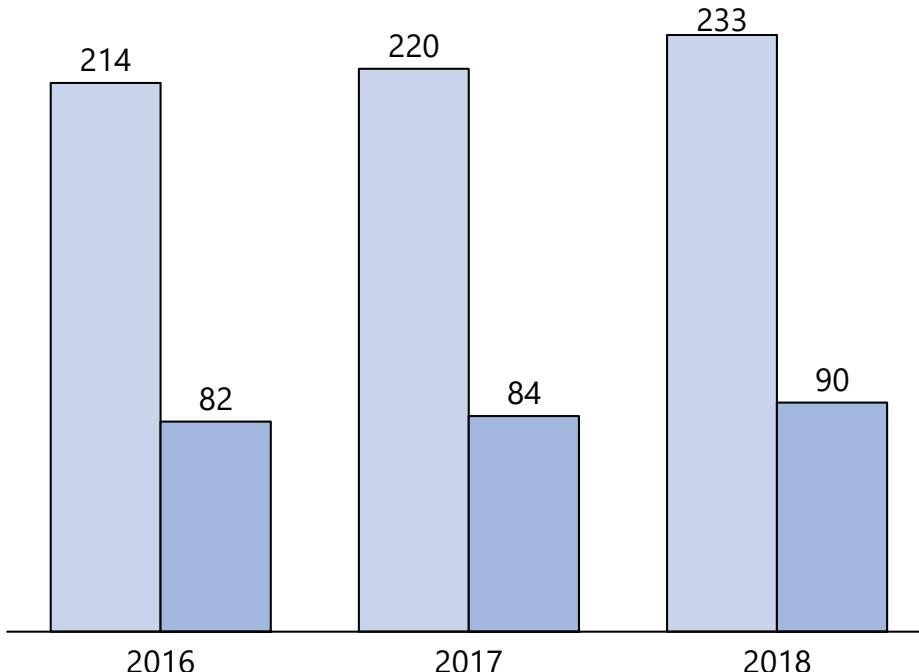
- 全食品カテゴリで消費が増加
- ベトナムのエビ養殖企業は、COVID-19の発生後数か月は生産量が減少
- インド、エクアドル、インドネシア、タイなど他国のエビ養殖関係者がコロナ感染で苦しむ中、国内の感染者を抑制に成功し輸出全体は好調に推移

Source: Euromonitor、ニュース記事

赤色：COVIDによる主な影響 橙色：今月号の更新情報

### 加工食品、冷凍食品の消費（百万ドル）

■ 加工食品 ■ 冷凍食品 \*有機食品のデータなし



- 電力網と冷凍設備の普及により、都市部から農村部まで冷凍食品が提供できるようになり、その市場は拡大
- オーガニック食品の流通は非常に限られており、その主な割合は有機牛乳  
乳製品企業：Vinamilk、TH True Milk、Friesland Campina Vietnam等
- 保存が利く加工食品や冷凍食品の需要が急増

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

NRI

55

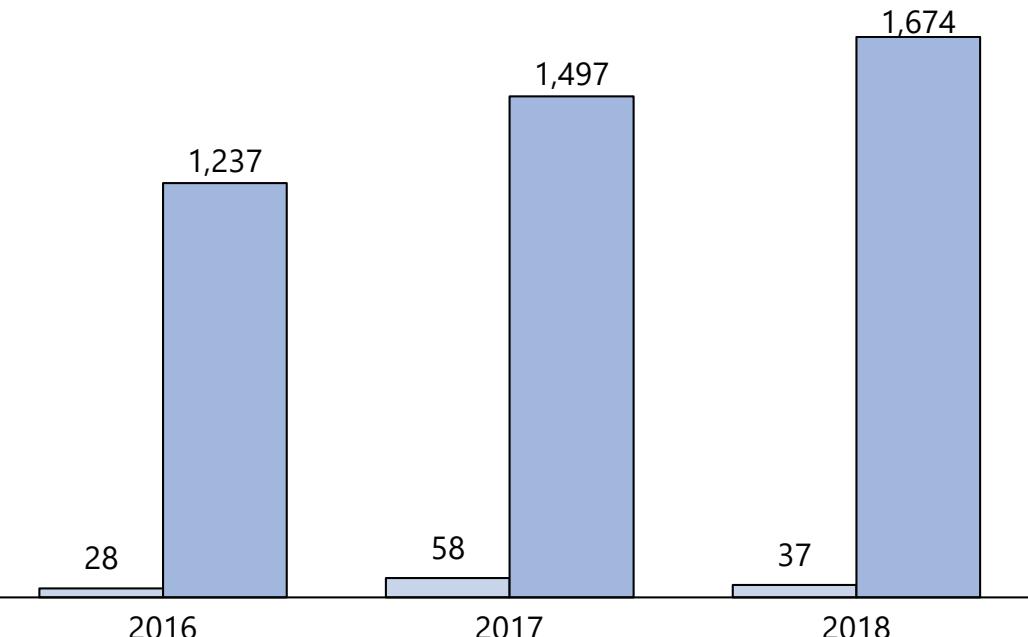


## COVID-19による食市場・物流への影響と今後の見通し

加工食品、冷凍食品の輸出入 | 冷凍牛肉、豚肉、鶏肉の輸入はベトナムの豊かさの高まりに伴い、大幅に増加。エビや冷凍魚など加工食品の輸出が好調に推移

### 加工食品、冷凍食品の輸入（百万ドル）

■ 加工食品 ■ 冷凍食品 \*有機食品のデータなし



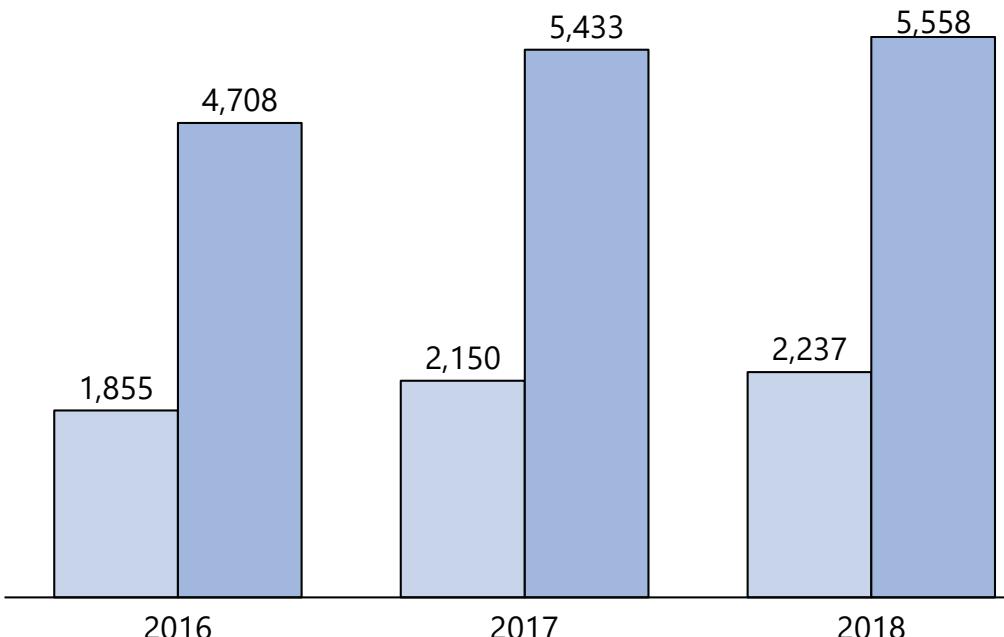
- 冷凍牛肉、豚肉、鶏肉の輸入は、ベトナムの豊かさの高まりに伴い、ここ数年で大幅に増加
- 輸出を目的とした水産加工産業が急速に発展し、40の国と地域から加工原料用のエビ、ナマズを輸入
- 農作物用原材料約30%を中国からの輸入に頼っていたが、サプライチェーン遮断により原材料の調達が困難に

Source: UN Comtrade, news articles

赤色：COVIDによる主な影響 橙色：今月号の更新情報

### 加工食品、冷凍食品の輸出（百万ドル）

■ 加工食品 ■ 冷凍食品 \*有機食品のデータなし



- エビや冷凍魚の切り身の輸出が好調に推移
- 加工魚は加工食品輸入の成長ドライバー
- エビ養殖企業は、COVID-19の発生後数か月は輸出量の減少に直面
- インド、エクアドル、インドネシア、タイなど他国のエビ養殖関係者がコロナ感染で苦しむ中、国内の感染者を抑制に成功し輸出全体は好調に推移

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

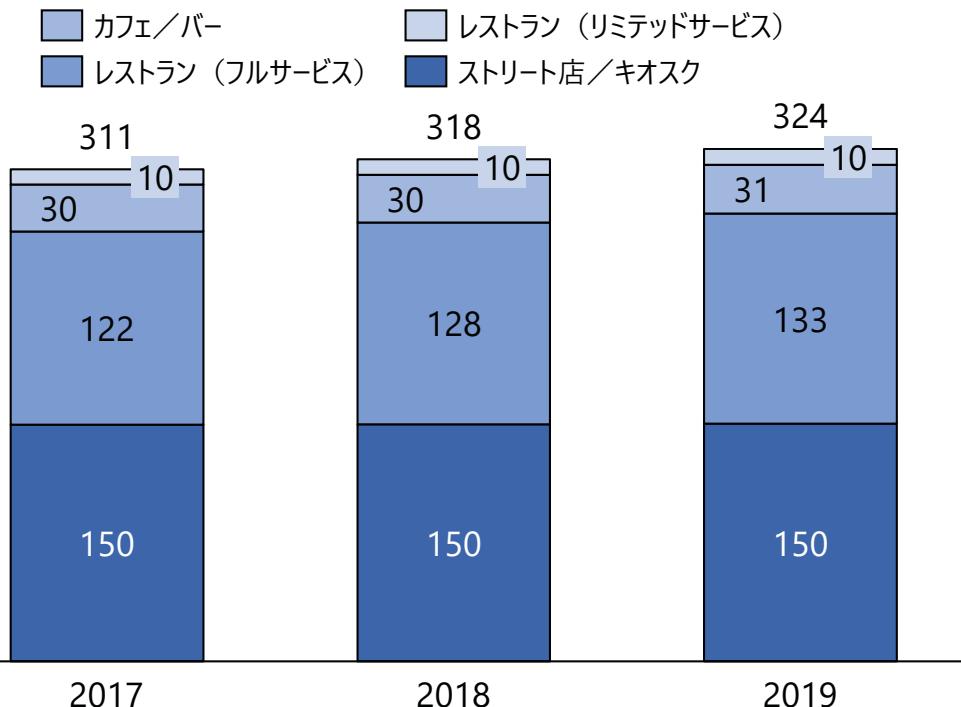




## COVID-19による食市場・物流への影響と今後の見通し

**小売・レストランの店舗数・売上| 屋台とレストラン形式が最も多く占める  
売上の主な割合は顧客単価の高いレストラン形式が約8割以上占める**

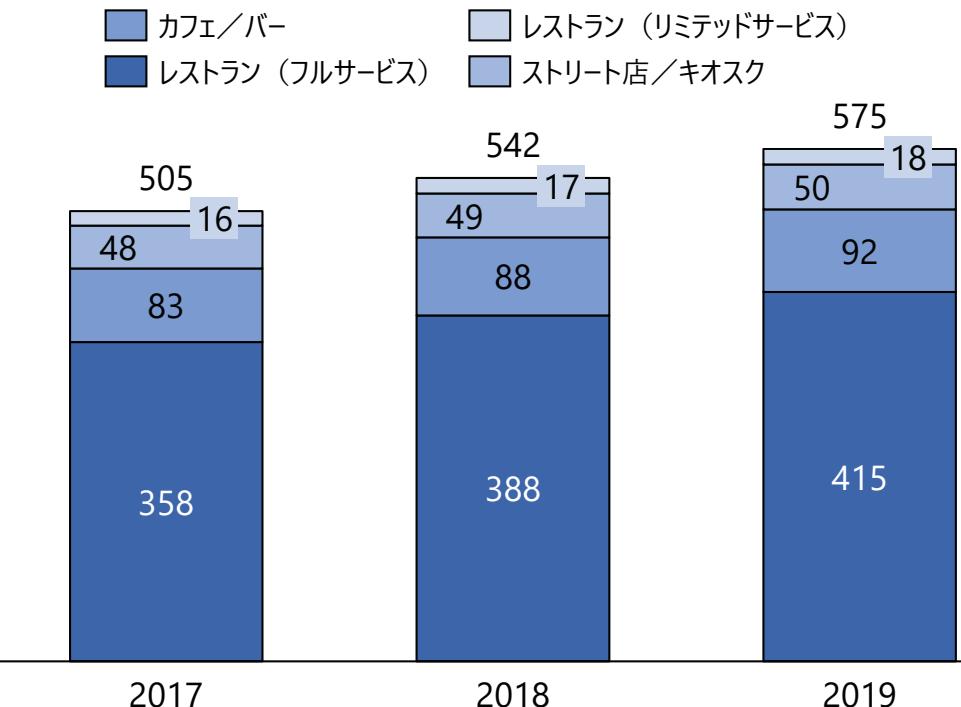
小売・レストランの店舗数 ('000 units)



- ・ レストランの店舗形式として、屋台、キオスクタイプとレストランが最多
- ・ ベトナムの日本食レストラン数は、年々増加傾向  
(2017年: 650店舗、2018年: 1,075店舗、2019年: 1,500店舗)
- ・ COVID-19によるロックダウンや外出規制がF&B業界に大打撃。閉店に追いやられるレストラン多発

赤色：COVIDによる主な影響 橙色：今月号の更新情報

小売・レストランの売上高 ('000 VND billion)



- ・ 顧客単価の高いカフェ／バーやフルサービスレストランの店舗数拡大により、レストラン産業全体の売上高が拡大
- ・ 顧客単価の高いレストランの売上シェアが8割以上
- ・ 営業規制により7月までの食品・外食産業の売上は281兆ドン（121億米ドル）と前年比16.6%減
- ・ 一方で、オンラインやデリバリーサービスなどから売上を維持する店舗も多数



## COVID-19による食市場・物流への影響と今後の見通し

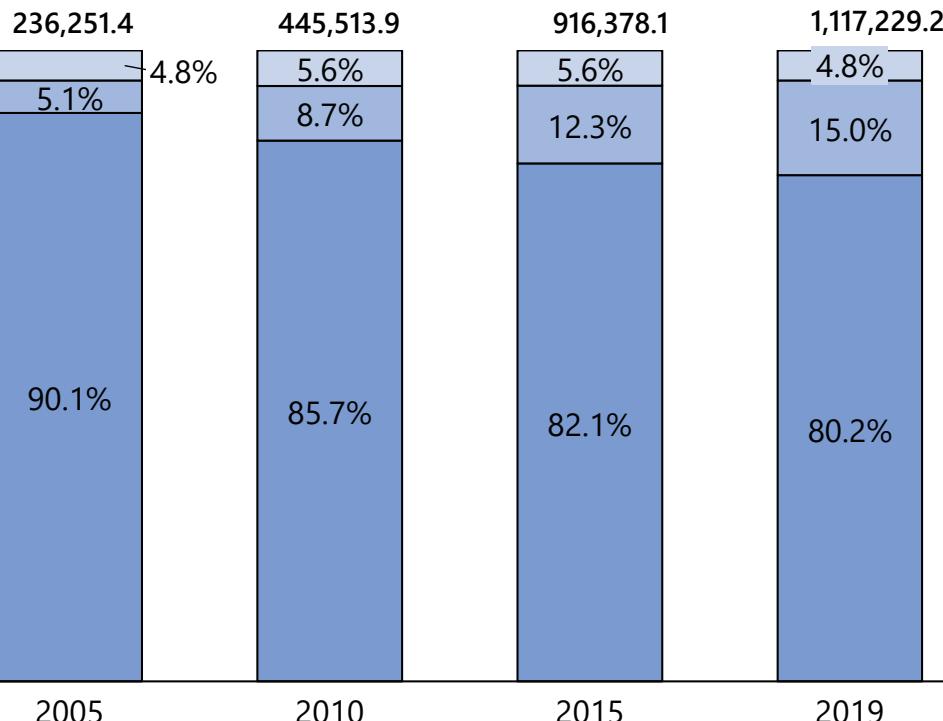
**包装食品| 主要チャネルは未だ伝統リテール全体の約80%以上を占める**

**外食サービス| イートインが全体の約80%以上とイートイン形態が根強く残る**

### 包装食品の販売チャネル割合

モダンリテール 食料品以外の専門店

伝統リテール



- 伝統リテールが約80%以上
- モダンリテールの割合が年々増加傾向
- COVID-19により、包装食品、乳製品、パーソナルケアのカテゴリーは成長
- パーティーやイベントの減少から飲料の販売量が減少

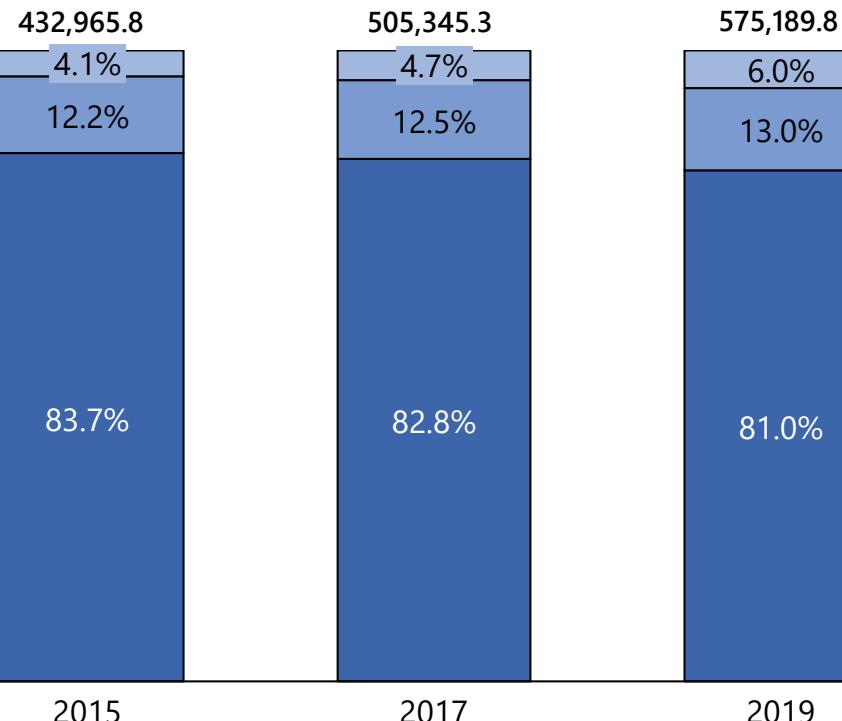
赤色：COVIDによる主な影響 橙色：今月号の更新情報

### 外食サービスの利用チャネル割合

ドライブスルー（無し） 宅配

イートイン

テイクアウト



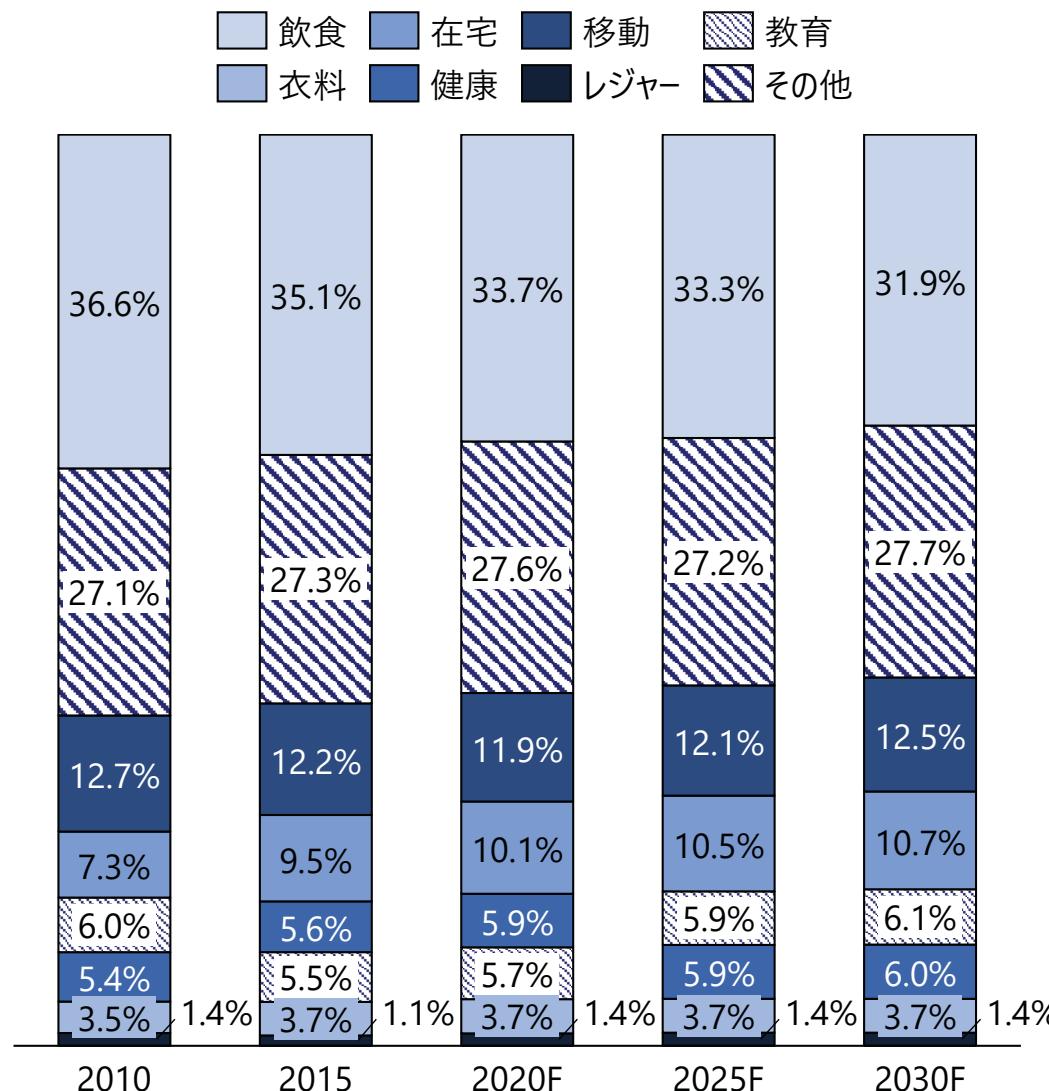
- 宅配とテイクアウトの増加により、イートインの割合が減少傾向
- ロックダウンや外出自粛の影響が最も甚大だったのは都心部に出店する高級レストラン



## COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し

# 消費者支出内訳| 新型コロナウイルスの影響を受けて爆発的に伸びていた日用消費財支出が一服

### 消費者支出内訳 (百万ドル)



Source: Deloitte, Euromonitor

### 主要な消費者トレンド

赤色 : COVIDによる主な影響 橙色 : 今月号の更新情報

- 中間所得者層の増加により、健康へ関心が高まり、ベトナムの主要な乳製品生産者もナツミルク製品の拡充に注力
- Vinmart +やSaigon Co.opなど地場の小売業者が強く、また同業同士によるM&Aなど大規模な拡張計画を行っている。結果、外資の小売業者は国内で成長することが困難
- B2CおよびC2Cのeコマースチャネルの利用率は年々増加傾向にあり、ローカルプレイヤーとしてTikiやSendoや、グローバルプレイヤーのLazadaやShopeeなどが市場に存在
- 国内のスマートフォンの普及率が、2017年の31%から2023年には45%に増加予測。特に農村地域での携帯電話への支出が増える見込み
- アクティブなソーシャルメディアの普及率は64%。中でも、Facebookのユーザー数は世界で7位の4,530万人（2019年7月）
- COVID-19は消費者の食への健康意識を高め、食の安全性や質からオーガニック食品などの需要を後押し
- また支出割合では、オンラインショッピングに費やされる支出が拡大。レジャーや外食などは減少する見込み
- ベトナムの電子商取引収入は第4四半期に120億米ドルに達する企業の24%が収益の51%以上増加
- 新型コロナウイルスの影響を受けて爆発的に伸びていたベトナムの日用消費財（FMCG）支出が一服

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.



## COVID-19による食市場・物流への影響と今後の見通し

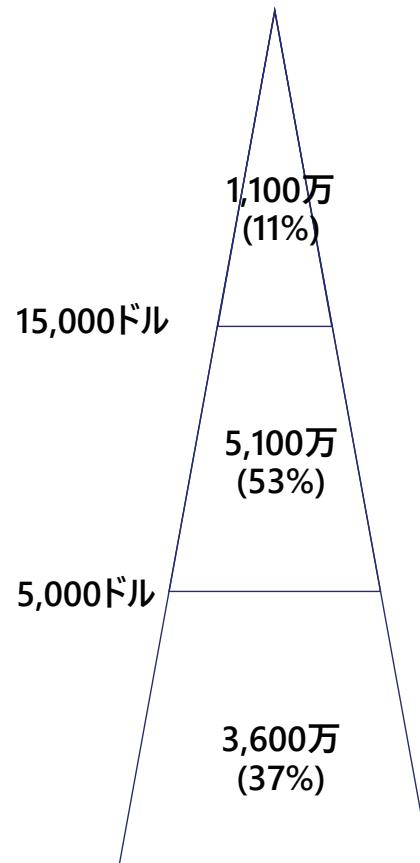
**消費者マインド| 富裕層や中間層は食品デリバリーの利用が広まる**  
**ロックダウンによる雇用と収入の低下から、地方自治体は米や現金支援を実施**

### 所得別の消費者マインド

赤色：COVIDによる主な影響 橙色：今月号の更新情報

年間所得別人口ピラミッド

(実質価格)



#### 消費者マインド

- 高所得格差の広がり
- 健康意識が高く、栄養強化食品、栄養補助食品などへの関心が高い

#### COVID-19の影響

- 高級所得層は、フードデリバリー や ケータリングサービスを好んで利用
- 免疫力が向上する食品（乳製品など）好んで購入

- 中間所得層の増加
- 所有意識が薄く、経験を優先
- プレミアム料金を支払うことを躊躇しない

- ロックダウンによりフードデリバリーの利用増加
- 制限緩和後も、人混みを避けるため自宅で食事をする傾向が根強く残る
- 継続的にフードデリバリー アプリを好んで利用

- 手頃な価格を好む
- 世帯規模が大きく、低い教育水準により低所得
- 都心より遠隔地に居住

- 雇用と収入の低下から、消費は必要不可欠な食料品を中心に購入
- 地方自治体は、約2,200万人の低所得者に対して米の支給や現金支援を実施

\*Note: 15歳以上の所得別人口を使用 (0-14歳の人口を除く)

Source: Euromonitor、ニュース記事、NRI Analysis

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

# マンスリー・レポートご報告内容：11月

1. タイ

2. ベトナム

1. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し

2. COVID-19 により顕在化したFVC の課題

3. 現地FVC 再構築に向けた最新動向



## COVID-19 により顕在化したFVC の課題

# ロックダウンによりサプライチェーンが混乱、農業資材の供給が遅延

### 農業資材への影響

顕在課題

潜在課題

課題分類

① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

#### テーマ

#### 影響

#### 内容



種子

**② ③**  
ロックダウンにより  
種子の供給が一時ストップ  
生産コストは上昇

- 産業貿易省が3月31日にロックダウンを発令し、農業資材業者が営業停止。供給が止まり一時混乱が発生
- 特に海外からの新規輸出受注に悪影響を及ぼした
- 花／観賞用植物の種子などは空輸のためコストの上昇など問題が発生



肥料

**② ③**  
中国からの肥料に影響  
肥料価格が一時急騰

- 政府はロックダウン期間中も肥料工場の稼働を特別措置により許可
- 中国からの輸入に依存する肥料は、中国からの物流や検疫が一時ストップしベトナム全土で肥料価格が一時急騰



農薬

**②**  
輸入減少による在庫不足  
農薬の需要も減少

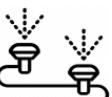
- 農薬の多くは中国からの輸入に依存していたため国内の在庫が不足に
- 農作物の生産減により、農薬の需要も減少



農業機械

**② ③**  
買い替えや新設の見送り  
農業のデジタル化への促進

- 農作物の需要・生産量低下により農家の資金繰りが悪化、農業機械の買い替えや新規購入を見送り
- COVID-19の教訓から、農業の機械化・デジタル化を更に促進させる農家も一部では存在



灌漑

**② ③**  
塩害被害と合わせり  
農家の収入が低下  
国際組織支援を仰ぐ

- 南部地域では2019年から塩害被害が拡大し打撃を受けた農家の収入が低下、新型コロナによる経済低迷が追い打ちをかける
- 農業開発支援の国際組織等が、灌漑システムの構築を支援

## COVID-19 により顕在化したFVC の課題



コロナ対策の厳しい管理の下、家畜肉分野において、首相指示で豚生体の輸入を承認するも未だ生鮮豚肉が払底。国産豚肉・豚生体の価格が継続的に上昇する予測

## 農業生産への影響

## 顕在課題

## 潜在課題

## 課題分類

## 1 ヒト

## 2 モノ

## 3 カネ

## 4 データ

## テーマ

## 影響

## 内容

**2** 米の禁輸措置により混乱が発生、販売価格が上昇

- 食糧安全保障の確保のため、税関総局は3月24日、コメの輸出手続き(申請、受理、通関)の実施を一時停止するよう指令
- 米の禁輸措置により輸出業者を中心に混乱が発生し、国内・国外の取引価格が上昇
- 最大のコメ産地である南部メコンデルタ地方で海水浸食問題に加え、COVID-19の影響が加わり農家は苦しい状況

**2 3** 家畜飼料産業の生産・販売減でトウモロコシの需要が下落

- トウモロコシ生産の主な割合が家畜飼料産業による消費
- 家畜飼料需要では、昨年から続くアフリカ豚熱（ASF）により需要が落ち込む中、COVID-19の影響により更に減少
- トウモロコシ消費量は、1540万トン（3月時点）から1485万トン（10月予測）へと、消費量が減少傾向にある

**2** 家禽飼料産業からの需要の減少 作物の切替への動き

- 農家の多くは輸出に依存しない収益性の高い作物（野菜や果物）に切り替える動きが始める  
(参考：2020年8月15日の大豆作付面積：37.1Ha（前年比7.2%減）)
- 食品用大豆と油糧種子の消費では、家庭用需要が若干伸びたものの、レストラン、ホテル、学校の閉鎖により需要が減少

**2 3** 家畜価格は僅かな上昇、保存が効く缶製品へシフト

- 家畜価格の僅かな上昇がみられるが、COVID-19による影響は限定的
- ロックダウンに備えて精肉需要よりツナ缶など缶製品の長期保存が可能な製品の需要が上昇（前年比40%増）
- コロナ対策の厳しい管理の下、首相指示で豚生体の輸入を承認するも未だ生鮮豚肉が払底  
国産豚肉・豚生体の価格が継続的に上昇する予測

**1 2** 労働力不足と輸送制限による供給の遅れ

- 農場の労働力不足と輸送制限により、生産と供給に影響
- 一方、消費者の健康志向への高まりとコロナ感染による重症化を防ぐとして、「コンブやメカブ、緑茶入り食品」の需要が急上昇。生産工場は、関連商品を増産させて対応



米



トウモロコシ



油糧種子（大豆）



家禽肉



有機食品



## COVID-19 により顕在化したFVC の課題

ロックダウンは、ベトナムの主要農作物の収穫における労働力不足を引き起こし、農作物生産に影響を与えた可能性がある

### 農業生産への影響



顕在課題



潜在課題

課題分類

① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

1

#### 労働力不足

- ロックダウンにより農業作業員が一時不足
- またベトナムからの出稼ぎ労働者が足止めにされており、他国の農業生産現場にも影響が波及

2

#### 植え付け／ 収穫時期の遅れ

- 作物の収穫量が最も多い第一期（12月～6月）分が、ロックダウンにより多くの農業が植え付けを遅延
- 植え付けや収穫時期の遅延から通常の収穫量が確保できない可能性

植え付け時期	収穫量率（年）	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Mua (6月～8月) (第3期)	19%												
Dong-Xuan (12月～2月) (第1期)	46%												
He-Thu (4月～6月) (第2期)	35%												



播種期



成長期



収穫期



## COVID-19 により顕在化したFVC の課題

**サプライチェーンが機能せず、ロックダウン中に倉庫（冷蔵含む）の利用が増加  
消費者の生活習慣の変化から、物流チャネルはラストワンマイルの需要が急増**

### 保管&運送への影響

顕在課題

潜在課題

課題分類

① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

2

#### 倉庫需要増加への対応

- ベトナムのホーチミン市とその周辺地域で冷蔵倉庫のスペースが不足
- ロックダウンにより食品需要が落ち込み、水産加工物等の輸出が滞り、輸入品の在庫が増え多くの倉庫がフル稼働状態
- 水産輸出加工協会など農業・地方開発省に対して、企業の冷蔵倉庫の増設を支援するよう要請

2 4

#### 輸出量の減少 フォワーダー企業 経営危機

- 食品加工など世界の下請け工場であったベトナムでは、世界的な消費低迷により取引先国から注文のキャンセルが相次ぐ
- その結果、国内の貨物フォワーダーは25%~70%の売上減少となる企業も多く、経営危機に直面
- 農林水産業GDPは、1.12%増、輸出は34%減の188億ドル（畜産物19%減、野菜果物12%減、水産物9%減）輸入は6.6%減の140億ドル

1 3

#### 物流業界の変革 ラストワンマイル の需要が急増

- 消費者の生活習慣の変化から、物流チャネルはオフラインからオンラインへ移行
- ラストワンマイルの配達会社は配達注文の急増、対応能力に限界がある
- ロックダウンにより各省市間の移動が規制されることによるオペレーションへの影響



## COVID-19 により顕在化したFVC の課題

**食品加工においては、保存型の加工食品（冷凍食品や缶詰製品）の需要が急増  
加工用原材料の高騰と従業員の安全対策の徹底から国内・国外の需要量の確保に苦戦(1/2)**

### 食品加工への影響

■ 顕在課題 ■ 潜在課題 課題分類 ① ヒト ② モノ ③ カネ ④ データ

#### テーマ

#### 影響

#### 内容



#### 供給側

① ③ 加工用原材料の  
価格高騰  
調達への影響

- サプライチェーンの混乱による加工用原材料の値上がりが発生
- 特に、昨年末より続くアフリカ豚熱（ASF）とCOVID-19の影響により豚肉が品薄、価格が高騰
- 政府は、豚肉の輸入量（タイから生きたブタの輸入等）を増加させ、価格抑制のための対策を実施中

① 保存型食品の  
国内・国外需要が  
共に急増

- シーフード／肉製冷凍食品、缶詰製品、またソーセージ等の保存が効く製品の需要が国内・国外共に急増  
(参考：HCMCの食品加工会社 - 缶詰製品30%~40%増、保存食品10%増)
- 生産ラインを増設し対応するが、国内のスーパーマーケットでは品薄状態、輸出を一時断念する企業も多い

① 安全対策の必要性  
によるコスト高

- 安全対策の徹底により一つの生産ラインに対しての人員を削減、シフト制にする必要あり
- 定期的な工場の消毒、休憩時間（タイミング）の管理や食事場所の確保など経費を圧迫



## COVID-19 により顕在化したFVC の課題

**COVID-19の影響により砂糖需要が減少するなか、タイからの安価な輸入品の急増  
砂糖の価格が底値となり国内の41の砂糖加工工場のうち、最大12の工場が閉鎖**

### 食品加工への影響

顕在課題 潜在課題 課題分類 ①ヒト ②モノ ③カネ ④データ

テーマ	影響	内容
需要側	2 冷凍食品やインスタント食品のニーズ拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>シーフードや肉など冷凍食品、缶詰製品やチャーハンやチキンステーキなどのインスタント食品の需要が急増</li> <li>コロナの影響により外出が制限されるなか、食材を一定量ストックする傾向が誕生</li> </ul>
	2 食材の包装形態への嗜好変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷凍や処理済みの肉より、市場で売られている生肉が新鮮とされてきた文化であったが、COVID-19の影響を受け、パッケージされた食材や処理済みの肉を好む人々が増加</li> </ul>
	2 砂糖需要の需要減少により工場閉鎖	<ul style="list-style-type: none"> <li>COVID-19の影響により砂糖需要が減少するなか、タイからの安価な輸入品の急増</li> <li>砂糖の価格が底値となり国内の41の砂糖加工工場のうち、最大12の工場が閉鎖</li> <li>タイ産砂糖のAD課税への動き</li> </ul>

## COVID-19 により顕在化したFVC の課題

実質店舗が閉鎖されていくなか、コンビニエンストアや薬局、ECなどの商業形態で商機が拡大  
政府は、電子商取引（EC）に対する課税を強化する方針を提示

### 卸・小売への影響

#### 顕在課題

#### 潜在課題

#### 課題分類

#### 1 ヒト

#### 2 モノ

#### 3 カネ

#### 4 データ

1

食品・外食産業の売上減少

- ・ 営業規制により、本年7月までの食品・外食産業の売上は、281兆ドン（121億米ドル）前年比16.6%減
- ・ ホーチミン市では、45.1%減、ダナン市では24.5%減、ハノイ市では18.9%減
- ・ 多くの小売業者は、レンタルコストが負担となり店舗の閉鎖に直面

1 4

伝統リテールからモダンリテールそしてオンラインへ

- ・ 市場などの伝統リテールにて食材を購入することを好む傾向が高かったベトナムだが、COVID-19の影響を受け衛生管理の整ったスーパー・マーケットなどモダンリテールの利用に移行
- ・ スーパーマーケットが提供するオンラインサービスなど、消費者の購買チャネルや様式の現代化が急激に進展
- ・ 電子商取引（EC）の反映により、実質店舗が閉鎖されていくなか、コンビニエンストアや薬局、ECなどの商業形態で商機が拡大
- ・ 政府は、電子商取引（EC）に対する課税を強化する方針を提示

2 3

小売業者の販売形態の変化

- ・ スーパーマーケットのVinmart、Big C、Aeon Vietnamは、オンラインのショッピングサイトを立上げ自社で宅配サービスも提供
- ・ ロックダウンで収入が断たれた人たちへの食糧支援として、政府は非接触型のお米のATMを各地域に設置



## COVID-19 により顕在化したFVC の課題

ホーチミンを中心にリアルタイムで配信を行う“ライブストリーム”が流行  
顧客体験型DX（ライブストリーム）を活用したオンラインショップが急増

### 消費への影響

#### 顕在課題

#### 潜在課題

#### 課題分類

#### 1 ヒト

#### 2 モノ

#### 3 カネ

#### 4 データ

1 4

伝統リテールから  
モダンリテール  
そしてオンラインへ

- 市場などの伝統リテールにて食材を購入することを好む傾向が高かったベトナムだが、COVID-19の影響を受け衛生管理の整ったスーパー・マーケットなどモダンリテールの利用に移行
- スーパー・マーケットが提供するオンラインサービスなど、消費者の購買チャネルや様式の現代化が急激に進展
- ホーチミンを中心にリアルタイムで配信を行う“ライブストリーム”が流行。顧客体験型DX（ライブストリーム）を活用したオンラインショップが急増

1 2 3 4

オンラインや  
非接触型による  
食料品の購入

- スーパー・マーケットのVinmart、Big C、Aeon Vietnamは、オンラインのショッピングサイトを立上げ自社で宅配サービスも提供
- ロックダウンで収入が断たれた人たちへの食糧支援として、政府は非接触型のお米のATMを各地域に設置

2 3 4

購買商品への  
変化

- COVID-19の発生前は、オンラインにて購入される商品は、電気製品、メディア製品（音楽など）、ファッショナブルアイテムが主力
- COVID-19の発生後では、生鮮食品や食料品、その他日用品としてメイク落とし、スマートフォン、牛乳、おむつ、鍋やフライパンなど在宅勤務と家庭での自炊に向けた商材が売れ筋に
- Shopeeのプラットフォームでは、COVID-19の発生後、買い物に費やす時間が25%以上増加

# マンスリー・レポートご報告内容：11月

1. タイ

2. ベトナム

1. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し

2. COVID-19 により顕在化したFVC の課題

3. 現地FVC 再構築に向けた最新動向



## 現地FVC再構築に向けた最新動向 | 制限緩和

ロックダウンは段階的に緩和、工場や商業施設も再開

11月1日から優先往来制度（ビジネストラック：ベトナム滞在14日間未満）の適用を開始

### COVID-19による制限

### 現状（10月20日時点）

#### 国内移動

- 4月1日、国内線航空便を停止

#### 国際移動

- 3月22日、国際線運航停止

#### その他

- 4月22日、ドンバン地区ロックダウン
- 7月27日、ダナン地区ロックダウン

#### 農業

- 原材料や飼料における輸出入規制
- 3月21日、労働者を含むすべての外国人の入国禁止

#### 保管・運送

- F&Bおよび輸出入業への制限

#### 加工

- 工場の一時閉鎖

#### 小売、消費

- 3月、ほぼ全ての企業（バー、映画館、サロン、ジム、小売店など）閉鎖

- 4月22日、段階的に運航が再開

- 段階的に運航が再開
- 11月1日から優先往来制度（ビジネストラック：ベトナム滞在14日間未満）の適用を開始

- 9月25日、ロックダウンによる全ての規制解除

- 5月1日、コメの輸出枠設定解除

- 9月11日、平常通り営業

- 9月11日、平常通り営業

- 9月11日、平常通り営業



## 現地FVC再構築に向けた最新動向 | 政府

政府は、ロックダウン前の経済刺激策において、農業再編計画において農家や水産業に対して成長促進への支援策や農業災害補償保険の提供など実施

### ロックダウン前の経済刺激策

対象	施策	概要	インパクト
農家	農業再編計画 2017-2020	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業部門では、2020年までに3%のGDP成長率を目指す           <ul style="list-style-type: none"> <li>例) 食品の安全性を確保するための食肉処理システムの再編成など</li> </ul> </li> <li>水産部門では、2020年までに4.5~5%のGDP成長率を目指す           <ul style="list-style-type: none"> <li>例) 損失を減らすために加工施設と貯蔵施設を近代化する投資等</li> </ul> </li> </ul>	<b>農業活動促進</b> <b>FVC影響 - 農業生産</b>
農家	農業災害補償保険	<ul style="list-style-type: none"> <li>貧しい農家の場合は、最大90%が保険でカバーされる (2018年6月)</li> <li>貧しい農家以外（対象外の場合）、最大20%の保険が適用可能</li> <li>農業機関は、協同組合として運営されている場合、保険料の最大20%適用</li> </ul>	<b>農家の運転資金増加</b> <b>FVC影響 - 農業生産</b>



## 現地FVC再構築に向けた最新動向 | 政府

## COVIDの危機に対処するため、ベトナム政府は農業セクターに対して広範な経済刺激策を発表

## COVID-19以降のベトナムの経済刺激策

対象	施策	概要	インパクト
農家	支払いの遅延とローン条件の引き下げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>政府は、COVID-19パンデミックの影響を受ける企業、個人、家計事業に対し、付加価値税、法人所得税、個人所得税、土地賃貸料の支払いを延期することを許可</li> </ul>	<p>農家の運転資金増加</p> <p>FVC影響 – 農業生産</p>
農家	食料の備蓄	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年3月27日、政府はCOVID-19/パンデミック中の国内食品の利用を確保するため、8万トンの水田(unhusked)米を含む27万トンの米を備蓄する計画を発表</li> </ul>	<p>農家からの購入</p> <p>FVC影響 – 農業生産</p>
農家	輸出支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>政府は、EUへの米輸出業者を支援する打開策として、EU・ベトナム自由貿易協定(EVFTA)を最大限に活用し新しい流通チャネルの開拓を目指す</li> </ul>	<p>ベトナム農産の需要確保</p> <p>FVC影響 – 生産、輸出</p>



## 現地FVC 再構築に向けた最新動向 | 政府

# ロックダウン中の輸入品の在庫が増え多くの倉庫がフル稼働状態 ベトナム政府としての明確な支援策は現段階では提示されていない

## 保管と運送への施策

FVC 影響 – 保管&運送

COVID-19  
による影響

政府の対応

### 倉庫保管および冷蔵

- ベトナムのホーチミン市とその周辺地域で**冷蔵倉庫のスペースが不足**
- ロックダウンにより食品需要が落ち込み、水産加工物等の輸出が滞り、**輸入品の在庫が増え多くの倉庫がフル稼働状態**
- 水産輸出加工協会など農業・地方開発省に対して、企業の冷蔵倉庫の増設を支援するよう要請

### 運送

- 食品加工など世界の下請工場であったベトナムでは、世界的な消費低迷により**取引先国から注文のキャンセルが相次ぐ**
- その結果、国内の貨物フォワーダーは**25%~70%の売上減少**となる企業も多く、経営危機に直面

### 市場と政府の分担

- ロックダウン中、多くの店が活動を停止したため、農家の調達が停止され、農産物ロス、農家収入減が発生
- 政府はこの分野の成長の可能性を認識
- インフラ整備、公共投資、改革法を強化し開発を促進する予定
- 現在、救済パッケージを展開する能力は限られるが、インフラ開発をスピードアップさせることが重要
- 具体的策なし
- 米の輸出は一時的に停止したが、各国がパンデミックの状況に徐々に適応するにつれて、農業部門は再び持ち直した



## 現地FVC再構築に向けた最新動向 | 企業

## 現地企業によるCOVID-19対応事例

## 観光・航空産業に対する支援

ベトジエットは、需要を刺激し、観光や航空産業の勢いを回復するために、観光調整やプロモーションキャンペーンを開発するために、地方や都市に同行することを約束



## Key Initiatives

- 1) 11月14日にベトナム市で会議が開催され、ホーチミン市とハザン、ホアビン、ラオカイ等8つの北西省間の観光開発を促進
- 2) ベトジエットは、需要を刺激し、観光や航空産業の勢いを回復するために、観光調整やプロモーションキャンペーンを開発するために、地方や都市に同行することを約束
- 3) ホーチミン市観光局によると、ホーチミン市と他の地域との間のこれらの調整協定の署名は、地方自治体、州政府機関、協会、観光業における企業との関係における新たな発展段階を提示



## 現地FVC再構築に向けた最新動向 | 企業

## 現地企業によるCOVID-19対応事例

### 農家に対する支援

#### より良い農場、より良い生活

バイエルベトナムは、地元の自治体や地元企業との協力しベトナムの小規模農家を支援



代表者が地元の農業拡張センターに贈り物贈呈

2020年9月末に開始された「より良い農場、より良い生活」イニシアチブは、80,000人の農家に地元のニーズに合わせたケアパッケージを提供することを目的とし、バイエルの種子、作物保護製品、関連するトレーニング資料の組み合わせが含まれる



#### Key Initiatives

- 1) メコンデルタの小規模農家が農業活動を維持・回復を支援。干ばつ、海水の侵入、COVID-19パンデミックなどの不利な状況において持続可能な方法で効果的に対応し、農業製品が食品安全と国際基準を満たすことを保証することを目的
- 2) 米・トウモロコシ栽培における農業拡張トレーナーや農家の知識を向上させ、知識の伝達や良い農業慣行の実践を支援



Bayer  
Vietnam



Ministry of Agriculture  
and Rural Development



Grow  
Asia



Natural Agriculture  
Extension Center



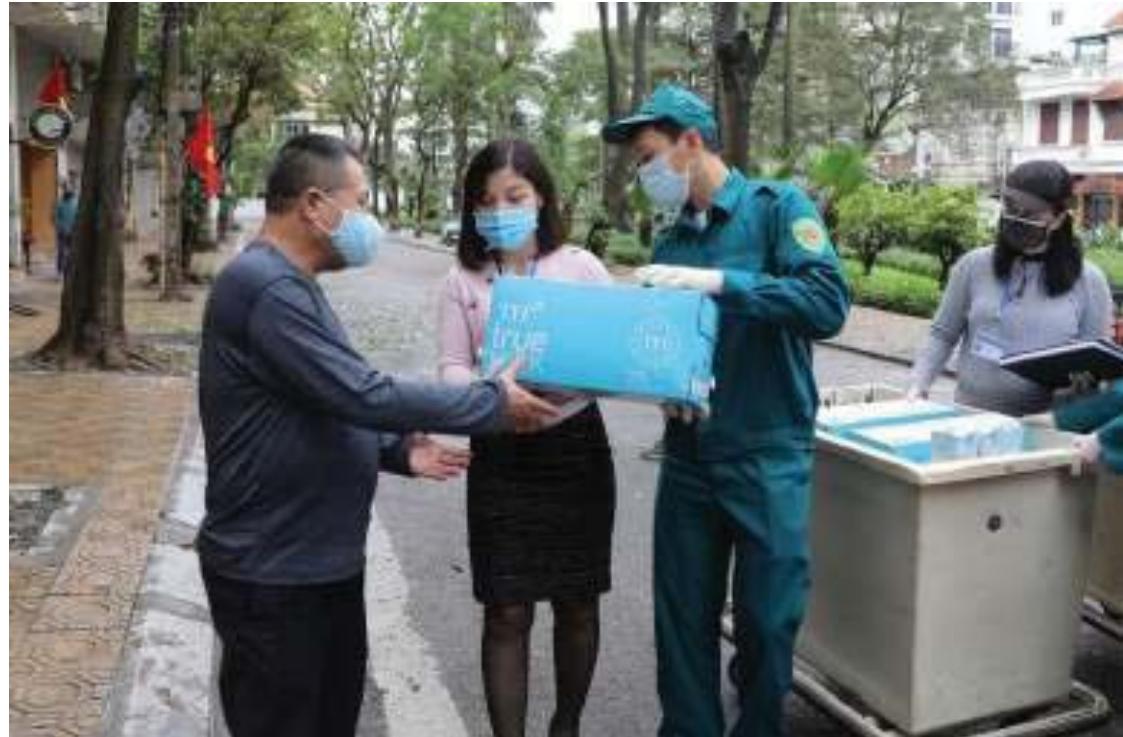
現地FVC再構築に向けた最新動向 | 企業

## 現地企業によるCOVID-19対応事例

### 看護婦、医師、医療関係者に対する支援

#### THグループ、新鮮な牛乳を寄付

ベトナムの乳製品生産者THグループは、COVID-19と戦う看護師、医師、その関係者に自社製品の人工呼吸器と牛乳を寄付



#### Key Initiatives

- 1) THグループは3月10日に、COVID-19と最前線で戦う看護師、医師、その関係者に自社製品の牛乳を寄付
- 2) また、医療従事者のための医療防護服を購入するための寄付金、人工呼吸器を寄付し全国の最前線の医療従事者を支援
- 3) 現段階で寄付金額は、VND15bn (\$642,000) に達する

#### Key Stakeholders Involved



THグループ

THグループは、無償で自社製品の牛乳、医療防護服の購入用寄付金、人工呼吸器を寄贈



## 現地FVC再構築に向けた最新動向 | 第3国/国際機関

## 第3国/国際機関によるCOVID-19対応事例

## 病院に対する支援

**日本の山田多紀夫大使とグエン・タン・ロン保健大臣代理は  
COVID-19禍の影響を受けるベトナムの病院を支援**



## Key Initiatives

- 1) 日本の山田多紀夫大使とグエン・タン・ロン保健大臣代理は、2020年8月から2022年1月までの18ヶ月間に20億円(1,880万米ドル)相当のODA助成金を分散させるメモに署名
- 2) これには、国立熱帯病病院、国立肺病院、ダナンC病院、国立血液学輸血研究所の4つの病院での医療機器のアップグレードが含まれ、COVID-19の予防と管理における能力を向上
- 3) 日本政府は、ベトナム政府が2020年春にマスク不足に直面した際に120万人以上のマスクで日本を支援。ベトナム保健省の役割を高く評価



The logo features the slogan "Share the Next Values!" in a bold, blue, sans-serif font. The text is partially cut off at the right edge. Above the slogan is a thick, curved swoosh composed of three segments: a blue segment starting from the bottom left, a white segment in the middle, and a red/orange segment at the top right.

*Share the Next Values!*